

〔海況概要〕 (平成30年1月4日～1月10日)

今週の本県近海の表面水温は、11～19℃台を示し、やや低い～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕 (平成30年1月4日～1月10日)

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり7トンの水揚げ（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の75%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の29%（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、ヤズなどが1日1統当たり380kgの水揚げ。北松生月地区では、サンマなどが1日1統当たり2.6トンの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり421kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり244kgの水揚げ（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり13kgの水揚げで前週並み（前年並み）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイが1日当たり146kgの水揚げで、前週の3.8倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕 (漁業情報サービスセンターより)

今期（12/26～1/9）の沖合イカ釣は、船凍船が竹島周辺海区及び隠岐堆から能登半島沖で操業。一部が青森県の赤イカヘシフト。氷蔵船は荒天の為休漁が多数有。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田・隠岐周辺・青森県沿岸にかけて出漁した。境港基地の小型イカ釣船 2日5隻入港、総計128箱、1航海最高60箱、平均25.6箱、スルメ（20入り）128箱。

〔海面水温情報〕 MGDSSST (人工衛星水温) 気象庁発表より

平成30年 1月 4日～平成30年 1月10日

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋

